

事務事業名	庁舎(本庁部局)管理事業	所属部	総務部	所属課	管財課			
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	財産管理監視G			
	課長名	富山照夫		電話番号	0854-40-1025			
	施策名	〈05〉時代にあった行政サービスの実現		担当者名	深田貴之			
	目対的象	A)市民 B)行政機能	意図	公平で効率的なサービスを受ける(提供する)。				
基本事業名	〈012〉業務と組織機構の効率化		予算科目	会計	0:1:1:0			
	目対的象	行政機能		意図	効率的な組織機構で効果的な行政サービスを提供する。			
	大事業名	02総務管理事業		中事業名	03市有施設等管理事業			
			大項目	0:5	中項目	01総務管理事業	小項目	02庁舎管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 本庁舎、里方分庁舎、木次農村環境改善センター、旧庁舎(本庁舎・分庁舎、分庁舎別棟)、旧市役所職員駐車場内車庫に係る施設維持・修繕及び管理業務

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績(R元年度に行った主な活動)				R2年度計画(R2年度に計画する主な活動)	
		本庁舎 里方分庁舎 木次農村環境改善センター 旧庁舎(本庁舎・分庁舎/分庁舎別棟) 旧市役所職員駐車場内車庫 に係る施設維持・修繕及び管理業務				同左	
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)	
	ア 施設の数	ヶ所	6	6	6	6	
	イ 維持管理経費	千円	66,542	68,073	65,371	63,074	
	ウ						
	エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
	庁舎施設	ア 施設数	棟	6	6	6	6
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)	
①事務に支障が生じないように維持する ②各種施設の維持及び修繕を図る ③維持管理経費の節減に努める	ア 光熱水費	千円	13,268	14,672	14,008	13,988	
	イ 修繕費	千円	538	1,805	525	0	
	ウ 委託料	千円	37,841	37,475	36,641	36,825	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
総務管理事業・庁舎管理事業(千円)	財源内訳	国庫支出金	千円			
・ 需用費 20,135		県支出金	千円			
・ 役務費 5,470		地方債	千円			
・ 委託料 36,641		その他	千円	3,161	3,706	3,434
・ 使用料及び賃借料 2,121		一般財源	千円	63,381	64,367	61,937
・ 工事請負費 891		事業費計(A)	千円	66,542	68,073	65,371
・ 備品購入費 113		正規職員従事人数	人	4	4	2
合計 65,371		延べ業務時間	時間	1,499	1,500	700
		人件費計(B)	千円	6,111	6,498	2,968
		トータルコスト(A)+(B)	千円	72,653	74,571	68,339

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
本庁舎の完成により、その環境は大きく改善されたが、依然として老朽化した施設があることから維持管理費は増加している。	省エネルギー、省資源に配慮した環境にやさしい本庁舎を平成27年度に建設した。	本庁舎において、空調管理や備品購入について要望がある。

事務事業名	庁舎(本庁部局)管理事業	所属部	総務部	所属課	管財課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 老朽化した施設については、長寿命化等による向上余地がある。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 行政サービスを提供する場として、庁舎を利用する以上、廃止・休止はできない。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒(具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 総合センター管理事業が類似事業であるが、迅速かつ適切な対応が求められることから、統廃合はできない。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 本庁舎は、換気・空気設備により状況に応じた運転やデマンド管理により、光熱水費の経費節減に努めているが、急激な気象変化に伴う温度変化への対応には苦慮している。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 庁舎警備や各設備の保守点検等は既に外部委託により対応している。また、最低限の人員で対応している。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 庁舎の維持・管理業務は市全体に対する行政サービス供給の前提条件となっている。	
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 引き続き庁舎が安全で快適に利用できるよう維持管理を行う。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
各施設を今後も適切管理に努めることにより経費節減を図っていく。また、老朽化施設については、長寿命化等の検討が必要である。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					